

松山が誇る「道後温泉」を世界へ、そして未来へ

1月15日から、道後温泉本館の保存修理工事が始まります。本市ではこれを契機ととらえ、さまざまな取り組みを展開していきます。

名作「火の鳥」とコラボレーション 道後REBORNプロジェクト始動



©TEZUKA PRODUCTIONS

道後温泉本館は1月15日

(火)から、営業しながらの保存修理工事に着手予定です。工事中ならではの魅力を広く伝える取り組みとして、道後温泉本館を、復活を繰り返す時代を超えて人類を見守る「火の鳥」の姿と重ね合わせ、手塚治虫さんの名作「火の鳥」とコラボレーションした事業を展開していきます。

その制作発表会が12月9日、道後温泉本館前で野志市長、(株)ポニーキャニオン代表取締役社長・吉村隆さん、俳優・つるの剛士さんが参加し行われました。野志市長は、「この道後温泉本館という宝を次の世代に引き継ぐため、皆さんと力を合わせて保存修理工事を乗り越えていきたい」と思いを語りました。

「道後温泉空の散歩道」が1月7日(月)リニューアル

道後温泉本館南側にある冠山の「道後温泉空の散歩道」がリニューアルし、1月7日(月)午後1時にオープンします。

足湯や東屋、ベンチなどの休憩施設に加え、藤棚や正岡子規の俳句の句碑、四季折々の花などが植えられた庭を設けました。足湯でくつろぎながら道後のまちなや、道後温泉本館



足湯から本館を一望

の全景を眺められ、散策も楽しんでいただける眺望施設です。足湯は6時〜21時まで利用できます。



道後REBORNプロジェクト制作発表会

「道後REBORNプロジェクト」では、古くからの文化財を大切に守り、次代に受け継いでいく、日本文化の「再生」の物語として、道後温泉を全国に、また海外に発信していきます。今後の事業展開(予定) 1月15日(火)〜本館正面入り口に「火の鳥」の到来を告げる「日除け幕」や灯籠を設置、本館入浴券を「火の鳥」のデザインに一新▼2月1日(金)〜明治の改築当時に使用されていた北面「一の湯」入り口の上に、「火の鳥」オブジェを設置、「道後REBORN」X「火の鳥」ライトアップ▼4月(土)〜11オリジナルアニメーションの公開

道後温泉本館 1月29日(火)〜31日(木)は臨時休業

道後温泉本館は、1月14日(月・祝)まで、通常どおり営業した後、15日(火)から保存修理工事に着手予定です。

浴室(神の湯)を男女で利用するための工事の後、新たな玄関となる北面入り口からお客さまをお迎えするため、オペレーションや非常時の対応な

道後アート 2019・2020 メインアーティストに 日比野克彦さん



メインアーティスト 日比野克彦さん

道後オンセナート2018は2月28日(日)で会期末を迎え、来年度以降は、1人のアーティストで2年にわたる「道後アート2019・2020」を開催。そのメインアーティストが日比野克彦さんに決定しました。

日比野さんは現在、東京藝術大学の美術学部学部長で、先端芸術表現科教授を務められ、日本美術界の第一線で活躍されています。観光客や住民参加型のアート活動を得意とする日比野さんが、道後温泉にアートの魅力を掛け合わせ、活性化につなげていきます。

どの準備期間として、1月29日(火)〜31日(木)までの3日間休業します。

2月1日(金)からは北面の入り口から入館いただき、入浴のみの営業となります。保存修理工事に伴う本館周辺道路の交通規制に関する情報は、随時、市ホームページなどでお知らせします。

オリジナル フレーム切手の 販売開始



販売中のオリジナルフレーム切手

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」と「道後温泉本館」を題材にしたオリジナルフレーム切手の販売開始に合わせ、平成30年12月3日に贈呈式が行われました。

贈呈式で野志市長は「手紙を通して遠くの人へ松山の魅力を伝えることができ、松山へ足を運んでもらうきっかけにもなる」と謝辞を述べました。フレーム切手は県内の郵便局で販売しています。

道後温泉事務所 ☎921 0101・FAX 934 3415

「紅まどんな」を全国へ発信 市長が生産地を視察し、トップセールス



山本さんの園地を視察する市長 (11月22日)

青果・花き取扱量日本一の大田市場(東京都)で、野志市長が行うまつやま農林水産物ブランド「紅まどんな」のトップセールスに先立ち、11月22日、興居島の生産地を視察しました。生産者の山本剛さんから紅まどんなの今年の出来栄などの説明を受け、市長は、「生産者から教えていただいた2つの『く(苦)と工夫』、そして生産にかけた熱い思いをしっかりとPRしたい」と話しました。



大田市場でのトップセールスの様子 (11月29日)

そして、11月29日に実施した大田市場でのトップセールスでは、市場関係者に対し、紅まどんなの特長と合わせて、生産者の苦勞と工夫について、パネルを使って紹介。生産者の努力を市場関係者に伝えました。試食も市場関係者に好評で、その後行われた「競り」でも活発な取引が行われました。

農林水産課 ☎948 6565・FAX 934 1808

「ことばのまち松山」をPR 松山空港の“ことば”をリニューアル



リニューアルした階段の“ことば”

本市では平成19年から、「だから、ことば大募集」に寄せられたことば作品を、「街はことばのミュージアム」と題し、路面電車や空港など市内各地に掲出し、「ことばのまち松山」の魅力在全国に発信しています。



PRグッズを眺める空港利用者

今回、松山空港の階段に掲出していることば作品とデザインをリニューアル。11月23日の記念式典で、野志市長が「ビルの北側と南側で、ちがうことば・デザインになっているので、両方楽しんでほしい」と話しました。

また、空港利用者へ、ポストカードや「ことばのコバト」プロジェクトのPRグッズなどが配られ、手にした人を楽しませました。

文化・ことば課 ☎948 6952・FAX 934 1207